

地震発生時の対応

- 地震はある日突然発生する ⇒ 日頃から地震発生時の対応を想定
 ※非常階段、屋外避難所、屋内避難所等を確認
- 地震発生時は「あわてず、まず身の安全」を確保 ⇒ 机の下等へ
- 地震の揺れが収まった後 ⇒ 強い揺れだった場合、落ちていて屋外に避難
- 強い揺れの地震の後には余震が来る可能性がある ⇒ 余震に警戒
 (参考) 平成 23 年 3 月 11 日 (震度 5 以上を抜粋)
 14:46 震度 7 (三陸沖) ※水戸市: 震度 4 以上の揺れ約 130 秒間
 15:06 震度 5 弱 (三陸沖)、15:15 震度 6 弱 (茨城県沖)
 16:29 震度 5 強 (三陸沖)、17:41 震度 5 強 (福島県沖)

気象庁の「緊急地震速報」(震度 5 弱以上と予測された場合)

地震による強い揺れが始まる数秒から数十秒前に、①TV・ラジオでは「緊急地震速報」の警報音と内容を放送、②携帯電話(一部機種)では警報音とともに画面に情報表示。

(注) 震源に近い地域では緊急地震速報よりも先に揺れが来る

(例) 複数の携帯電話で一斉に警報音

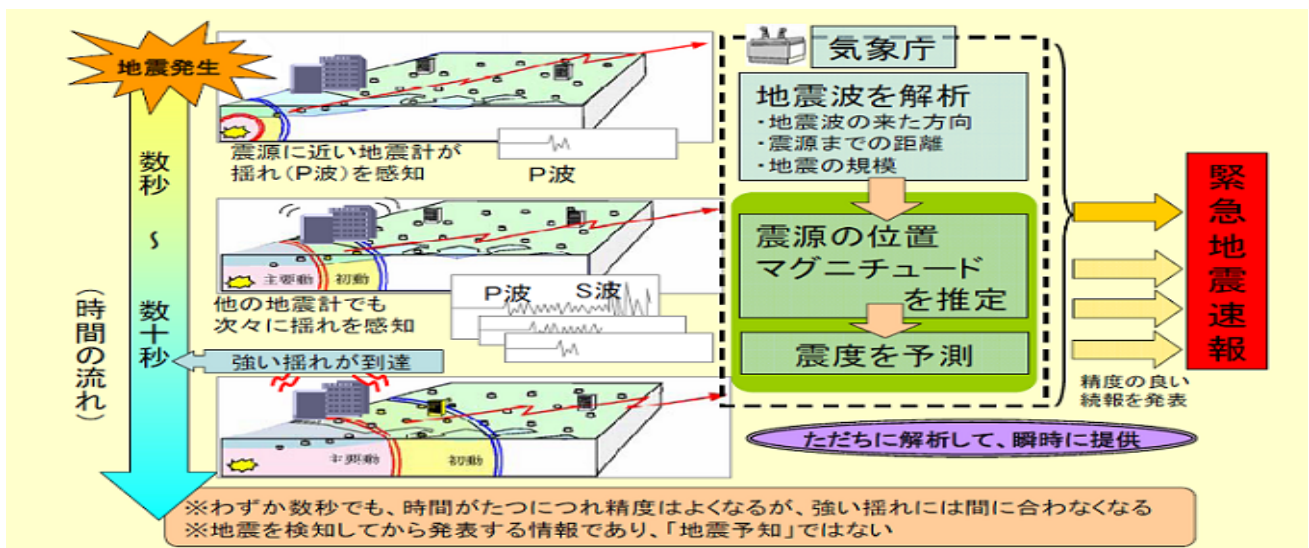
⇒ 緊急地震速報の可能性あり

⇒ 授業・実験、会議・イベント等を一時中断

※震源から遠い場所では、強い揺れが届くまでに時間がかかる。
 揺れがこなくても受信してから数分間は身を守るなどの警戒。

(参考) 緊急地震速報とは (気象庁)

気象庁が、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒～数十秒前に速報



授業・実験中や会議・イベント中に「緊急地震速報」を受信（対応例）

震源に近い場合には「緊急地震速報」よりも先に揺れが来ます。
この場合は直ちに「①安全確保のアナウンス」をして下さい。

1. 室内の複数の携帯電話で一斉に「緊急地震速報」受信の警報音
(TV・ラジオでは「緊急地震速報」の警報音と内容を放送)

2. ただいま緊急地震速報が出た模様です。安全確認のため〇〇を一時中断します。

強い揺れが同時に発生

強い揺れが発生していない

携帯電話、TV・ラジオで
緊急地震速報の内容を確認

〇〇地方で地震発生
念のため地震に備えて下さい

詳細につきましては、
分かり次第お知らせします

①安全確保の
アナウンス

落ち着いて
身の安全を確保して下さい

頭を保護し
机の下等に隠れて下さい

強い揺れが発生

3. 揺れが収まったら

(避難の必要が少ない)

(避難が
必要)

避難して下さい
(係員の指示に従い)
落ち着いて行動して下さい

(数分たっても)
揺れが来ない

〇〇地方で震度〇の地震が発生しましたが、
当会場に影響はありません
中断していました〇〇を再開します

4. 屋外等の安全な場所へ避難
<余震に注意>